



2024年8月8日

各 位

会 社 名 株式会社プレミアムウォーターホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長 金 本 彰 彦  
(コード番号 : 2588 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 経 営 管 理 本 部 I R 部  
電 話 (TEL. 03-6864-0980)

## 投資家・アナリストの皆様よりいただいた ご質問及び回答内容公開のお知らせ

株式会社プレミアムウォーターホールディングスは、2024年6月19日開催の第18回定時株主総会終了後、今回新しく代表取締役社長に就任した金本による経営方針説明会を実施いたしました。当日は当社株主の方々にご参加いただき、多くのご質問を頂戴しました。

また、日頃より、当社IR活動に関連して、お電話やメールにて個別にお問合せをいただくことがございます。いただいたご質問に対しては、可能な限り速やかに回答させていただいておりますが、株主及び投資家の皆様へ情報発信強化及びフェアディスクロージャーの観点から、頂戴した主要なご質問と回答につきまして、次頁に記載のとおり、公表いたします。

なお、回答内容につきましては、時点のずれによって対象の齟齬が生じる可能性がございますが、直近の回答内容を最新の当社方針として公表いたします。

### 【ご参考資料】

2024年6月19日(水)開催 経営方針説明会

説明会資料：[https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload\\_file/m005-m005\\_04/240619\\_keieihoushin.pdf](https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload_file/m005-m005_04/240619_keieihoushin.pdf)

2024年5月14日(火)開催 2024年3月期 決算説明会

書き起こし記事：<https://finance.logmi.jp/articles/379527>

アーカイブ動画：<https://www.youtube.com/watch?v=4swdkW7m6Fs&feature=youtu.be>

説明会資料：[https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload\\_file/m005-m005\\_02/240514.pdf](https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload_file/m005-m005_02/240514.pdf)

以 上

---

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社プレミアムウォーターホールディングス

経営管理本部 IR部 Tel : 03-6864-0980

(受付時間 : 平日 午前10時から午後7時まで)



PREMIUM WATER  
HOLDINGS

投資家・アナリストの皆様よりいただいた  
ご質問及び回答内容

# 目次

■当社の実績について ————— P 3

■当社の営業方針について ————— P 5

■当社の経営方針について ————— P 6

■M&Aについて ————— P 7

■関連会社について ————— P 8

■物流について ————— P10

■水源について ————— P12

■その他について ————— P13

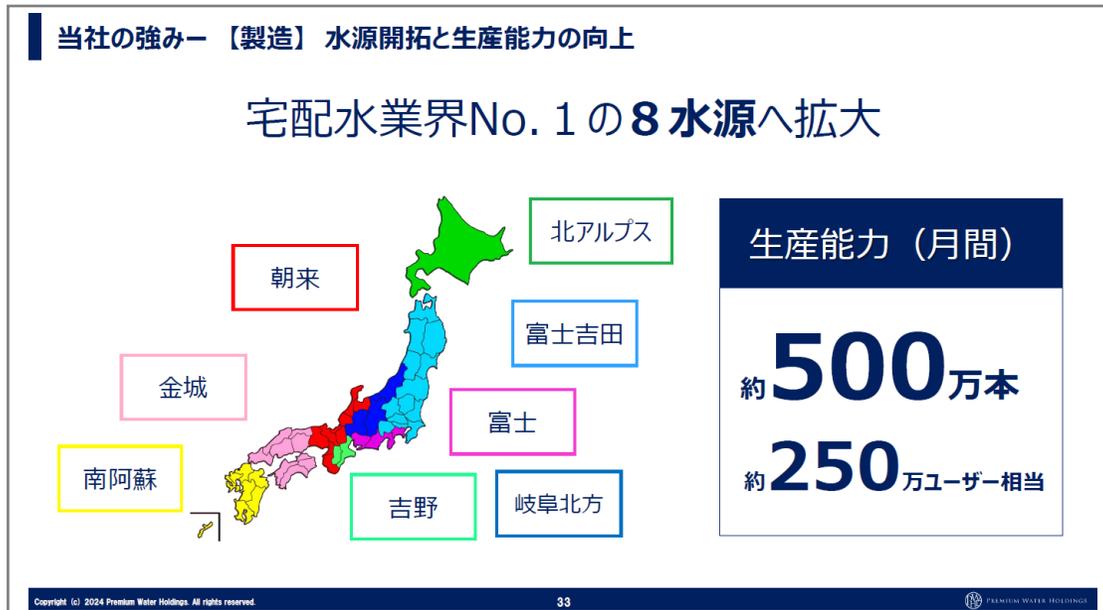
## 質問 1

現在の出荷本数について教えていただけますでしょうか？

## 回答 1

具体的な数字は公表しておりませんが、宅配水事業における顧客数の増加とともに、出荷数も増加しております。

### ▼ 参考情報



2024年3月末の当社保有ユーザー数は、162万件です。また、当社が保有している水源は、宅配水市場で最も多い8水源となっています。生産能力は月間約500万本であり、約250万ユーザーに水を届けることが可能です。

※2024年3月決算説明会資料より抜粋

## 質問 2

ChatGPTをはじめとした生成AIについて、社内で活用している事例があれば教えてくださいませんか？

## 回答 2

現状では一定期間ご注文を頂戴していなかったお客様に対して、再購入のご案内やご契約状況の確認をする際にAIを活用しており、そのデータを基に更なる効率化を図れるよう進めております。

## 質問 3

契約期間5年では、契約時にユーザーが消極的になってしまうように思います。契約期間を長くするための特別な営業方法があるのでしょうか？

## 回答 3

実際に商品を販売している営業員が、当社の経営戦略とその意図を理解して営業に取り組むことで、新規契約における約95%を5年契約で獲得できています。

### 解約を減らすための戦略方針

#### ① 長期契約

1年でスタートした契約期間を、現在は5年契約にシフト。  
将来的な解約率の低減に繋げる。

#### ② 新製品の開発強化

機能性、デザイン性を向上させた新型サーバーの開発。

#### ③ 顧客満足度の向上

サービスの品質強化。  
既存ユーザーの満足度を高める電気、ガス、他副商材の提案。

既存のユーザーに対しても、新製品の開発や顧客満足度の向上施策に取り組むことで、契約の長期化に努めています。

## 質問 4

上場維持基準の適合について、進捗はいかがでしょうか？

## 回答 4

親会社とも上場維持を共通認識としてもっております。当初の計画どおり、2027年3月末日を期限として、上場維持基準を充たすために取組みを進めてまいります。

### ▼ 参考情報



2024年6月28日

各位

会社名 株式会社プレミアムウォーターホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 金本彰彦  
(コード番号 : 2588 東証スタンダード)  
問合せ先 経営管理本部 IR部  
電話 (TEL. 03-6864-0980)

**上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について**

当社は、2023年6月30日に公表した「上場維持基準の適法に向けた計画に基づく進捗状況について」において、2023年3月末時点における計画の進捗状況等について開示しております。

2024年3月末時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

2024年6月28日に「上場維持基準適合に向けた計画に基づく進捗状況について」のお知らせを開示しております。

2024年3月末時点の進捗状況等の詳細につきましては、下記URLよりご確認ください。

- 2024年6月28日開示  
「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」  
[https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload\\_file/tdnrelease/2588\\_20240628540696\\_P01\\_.pdf](https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload_file/tdnrelease/2588_20240628540696_P01_.pdf)

## 質問 5

ビックカメラグループのウォーターサーバー事業は、赤字だったと記憶していますが、それを立て直して黒字にする自信があるというお考えでしょうか？

## 回答 5

ウォーターサーバー事業は先行投資が必要なため、一定の顧客数に満たない場合は赤字が続きます。当社は宅配水業界 1 位の顧客数を保有し、生産・物流の効率的な仕組みがすでに出来上がっているため、サービス継承後も収益化が可能であると考えております。

### ▼ 参考情報

#### | PWHDの今後

### 1. 更なるグループの成長拡大

#### M&Aの実施



PREMIUM WATER  
HOLDINGS

2024年5月にビックカメラグループのブランド「puhha」と「TAPURI」のサービスを継承

2024年6月28日付で、ビックカメラグループの宅配水サービス「puhha」と浄水型ウォーターサーバー「TAPURI」のサービスを継承いたしました。

当社は宅配水業界 1 位の顧客数を有し、そのスケールメリットを活かした自社物流網の構築や水源の開拓を行ってまいりました。ビックカメラグループからの事業継承後もこのスケールメリットを活かし、効率的な事業運営を行ってまいります。

## 質問 6

株式会社DREAMBEERについて、情報発信があまりありませんが、今後の営業戦略についてどう考えているのでしょうか？

## 回答 6

DREAMBEER社は連結子会社ではないため、積極的な情報開示は行っておりません。今後も当社からは宅配水事業に関するお知らせ等を発信してまいります。DREAMBEER社につきましても、グループ戦略の一環として、適宜情報提供を行う予定です。

### ▼ 参考情報

#### 販売力強化－他企業とのアライアンス強化・出資②

DREAMBEERは、これまで当社が手掛けてきた宅配水事業と同様の**ストック型ビジネス**であり、創業以来培ってきた、当社の強みである営業力を存分に発揮できると見込んでいる。

また、宅配水事業におけるターゲット層ともある程度類似していることから、今後クロスセル等によるシナジー効果も期待できる。



2023年10月に、DREAMBEER社の普通株式及び転換社債型新株予約権付社債（CB）の第三者割当引受を実施いたしました。2024年4月にもCBの第三者割当の追加引受を実施しております。上記に関するリリースにつきましては、下記URLより詳細をご確認ください。

- 2023年10月12日開示  
「株式会社DREAMBEERの普通株式及び転換社債型新株予約権付社債の第三者割当引受に関するお知らせ」  
[https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload\\_file/tdnrelease/2588\\_20231012565812\\_P01\\_.pdf](https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload_file/tdnrelease/2588_20231012565812_P01_.pdf)
- 2024年3月21日開示  
「株式会社DREAMBEERの転換社債型新株予約権付社債の第三者割当追加引受に関するお知らせ」  
[https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload\\_file/tdnrelease/2588\\_20240321556919\\_P01\\_.pdf](https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload_file/tdnrelease/2588_20240321556919_P01_.pdf)

※2024年3月決算説明会資料より抜粋

## 質問 7

エフェルシープレミアム株式会社の小泉まり氏が代表取締役社長へ就任した INEST株式会社とは、今後どのような関係性を築こうと考えているのでしょうか？

## 回答 7

INEST社の子会社であるRenxa株式会社はテレマーケティング営業で大きな成果を挙げています。対面販売が得意なエフェルシープレミアム社の小泉が代表となることで、お互いのノウハウを出し合った大きな相乗効果が期待できると考えています。

### ▼ 参考情報



2023年11月に、下記を決議しております。

- 1 INEST社と資本業務提携契約を締結し、当社が INEST社の株式を新規取得する。
- 2 エフェルシープレミアム社がINEST社を割当先とする第三者割当による優先株式の発行等を行い、INEST社の完全子会社となる。

上記に関するリリースについては、下記URLよりご確認ください。

■2023年11月15日開示  
「INEST株式会社との資本業務提携及び連結子会社の異動（第三者割当増資）に関するお知らせ」  
[https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload\\_file/tdnrelease/2588\\_20231115591044\\_P01.pdf](https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload_file/tdnrelease/2588_20231115591044_P01.pdf)

※2024年3月決算説明会資料より抜粋

## 質問 8

2024年3月期決算説明会にて、前社長である萩尾陽平氏が「他社の水も運ぶ」という話をされていましたが、すでに実施されているのでしょうか？

## 回答 8

現在具体的に進んでいる話等はございませんが、当社の自社物流網※を活用いただくことで配送効率の向上や物流費の削減等のメリットがあると考えております。今後ご提案の機会があれば、前向きに検討したいと考えております。

### ▼ 参考情報



当社では、自社物流網※を構築しており、2024年3月時点でその比率は51.5%となっています。

※当社の配送管理システムに参加している配送パートナー

※2024年3月決算説明会資料より抜粋

## 質問 9

自社流通網の比率と仕組みを教えてくださいませんか？

## 回答 9

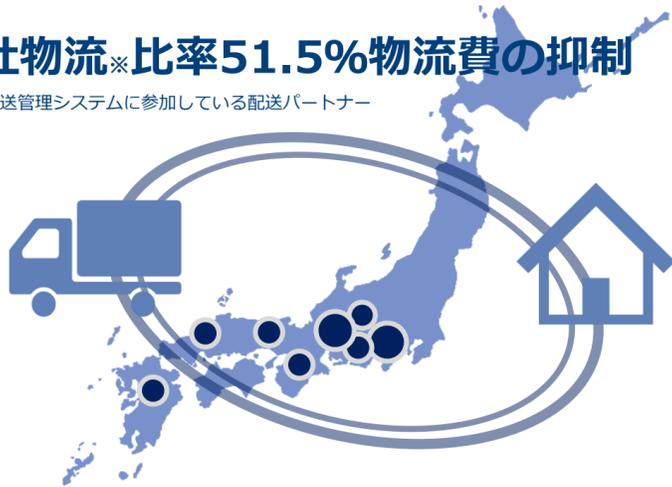
自社物流網は、各エリアで地場の配送業者様と契約し、エリア毎の配送効率を向上させる取組みです。各エリアには配送センターが存在し、物流費の抑制にも寄与しています。なお、自社物流網※比率は、2024年3月末時点で約51.5%となります。

### ▼ 参考情報

#### | PWHD独自の戦略

#### ② 自社物流※比率51.5%物流費の抑制

※当社の配送管理システムに参加している配送パートナー



当社の配送管理システムに参加いただいている配送パートナーで構成されている「自社物流網※」の比率は51.5%となっており、物流費の抑制にもつながっています。

※当社の配送管理システムに参加している配送パートナー

## 質問 10

新たな水源を開拓する予定はありますか？

## 回答 10

水源開拓については、適宜検討しております。2024年4月に第2期工事を竣工した岐阜北方工場では、月240万本以上の生産が可能となるため、まずは工場稼働率の向上を図るべく、ユーザー数の純増に取り組んでまいります。

### ▼ 参考情報

#### 当社の強みー【製造】北方工場 第2期工事完了

- ✓ 岐阜北方工場は、2024年3月に第2期工事を完了



#### 岐阜県 北方工場 (2022年2月より稼働)

生産能力：**240**万本以上/月

総投資額：89億円

- ▶ 第2期工事完了により、**宅配水市場において国内最大規模の天然水工場**となる
- ▶ 日本の中央に位置する岐阜県は、**生産および物流において非常に重要な拠点**となる

岐阜北方工場は第2期工事を竣工し、本工場単独で月240万本以上の生産が可能となりました。最新設備による高度な自動化を推進し、生産能力・生産効率が格段に向上しております。

## 質問 11

小泉まり氏をはじめとした、社内の女性の活躍状況はいかがですか？

## 回答 11

当社は完全能力主義で評価しておりますので、性別に関わらず公平に活躍の機会を提供しております。

### ▼ 参考情報



The screenshot shows a page from a sustainability report with the following content:

- ACTIONS 心と体の健康づくり/多様性の尊重**
- 心と体の健康づくり** 心と体の健康づくりを促進し、維持できる環境をつくる
- 多様性の尊重** 多様性を尊重・包摂し、一人ひとりが活躍できる環境をつくる
- 社員が働きやすい環境づくりとダイバーシティへの取り組み**
  - プレミアムウォーターホールディングスでは、社員が働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいます。特に女性社員が多い当社にとって女性が働きやすい環境を整えることは、会社全体の生産性を高めることにつながります。
  - 産前産後休業や育児休業・育児休業給付、育児休業中の社会保険料免除のほか、制度の周知や情報提供を行っています。
  - 在宅勤務ができる環境が整っています。
  - 評価制度の基準に「仕事とプライベート」に関する項目を設けており、公私ともに充実させ、働くことに対するモチベーションにつながる取り組みを実施しています。
  - 妊娠中や育児休業からの復職時に、営業職から内職への異動実績が多数あります。
- サンクスカードの実施**
  - 従業員同士で日頃の感謝の気持ちを紙やデジタル上のカードに書いて送り合う制度。プレミアムウォーターホールディングスでは、工場や内勤部署で実施しています。社内でのコミュニケーション活性化やお互いの感謝関係の構築を促すことを目的としています。

※サステナビリティレポート2023より抜粋

当社は社員が働きやすい環境づくりにも積極的に取り組んでおり、特に女性社員の働きやすい環境を整えることで、女性社員の活躍の幅を広げ、会社全体の生産性向上に取り組んでおります。

2030年までに管理職に占める女性労働者の割合を30%にすることを目標にしており、2024年5月末時点で、当社グループ全体の女性の管理職比率は29.1%となっております。

■2024年6月28日開示  
「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」  
[https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload\\_file/tdnrelease/2588\\_20240628540893\\_P01\\_.pdf](https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload_file/tdnrelease/2588_20240628540893_P01_.pdf)

■「サステナビリティレポート2023」  
<https://premiumwater-hd.co.jp/sdgs/img/report/ssr2023.pdf>

## 質問 12

後継者（次期社長）について、どう考えているのでしょうか？

## 回答 12

当社の企業価値をあげていくことに注力しながら、次にバトンを託せる後継者を育成し、永続的に発展できる企業を目指してまいります。

## 質問 13

現在、決算説明会は機関投資家・アナリスト向けのみ実施されていますが、個人投資家に向けても実施していただくことは可能でしょうか？

## 回答 13

個人投資家向け説明会の開催を含め、検討いたします。



現在、決算説明会は機関投資家及びアナリストを対象として、第2四半期（11月頃）と本決算（5月頃）の年2回開催しております。直近で実施した2024年3月期の決算説明会の様子は、下記よりご確認ください。

- 書き起こし：<https://finance.logmi.jp/articles/379527>
- 動画：<https://www.youtube.com/watch?v=4swwk7m6Fs&feature=youtu.be>
- 資料：[https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload\\_file/m005-m005\\_02/240514.pdf](https://premiumwater-hd.co.jp/ir/upload_file/m005-m005_02/240514.pdf)

※2024年3月決算説明会資料より抜粋

プレミアムウォーターホールディングスとして  
やるべきことは明確です。

やるべきことを愚直に実行していくことが重要だと考えています。

必ず株主の皆様のご期待に応えられるように、  
全身全霊を賭して、取り組んでまいります。

2024年6月19日

株式会社プレミアムウォーターホールディングス 代表取締役社長 金本彰彦

## 1. 掲載された情報についてご注意いただきたい点

当資料を通じ、財務情報、経営指標等の情報の開示を行います。当社は、当資料を通じて情報開示を行うにあたり細心の注意を払っておりますが、当資料に掲載した情報について内容の正確性等を保証いたしません。当資料による情報開示は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終的な決定は、ご自身の判断でお願い致します。当社は、当資料に掲載された情報を利用したことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

## 2. 将来の見通しに関する事項について

当資料に掲載されている情報には、業績予測等の将来の見通しに関する記述が含まれていますが、これらはリスクや不確実性を内包するものです。業績予測等の将来の見通しに関する記述は、その実現性を保証するものではなく、当社を取り巻く経営環境や市場動向の変化等により、実現しない可能性があることにご注意ください。

## 3. 当資料の運用について

当資料は予告なく配布の中止や内容の変更を行うことがあります。当社は、当資料を利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

<お問い合わせ先>

株式会社プレミアムウォーターホールディングス IR担当

メールアドレス：ir@premiumwater-hd.co.jp



PREMIUM WATER  
HOLDINGS